小学校低学年用　学習の手引き

進んで学ぶ時津っ子

時津小学校　時津北小学校
時津東小学校　鳴鼓小学校
時津中学校　鳴北中学校
時津町教育委員会

保護者の皆様へ

～子どもたちに「確かな学力」を～

子どもたちが生きていくこれからの時代は、変化が早く、予測するのさえ難しいと言われています。今までの正解がこれからも正解か、だれにも分かりません。

そうなると、子どもたちには、正解を見つけたり覚えたりする力だけでなく、自分の考えをもち、人と協議・検討し、よりよい答えを創り出す力が求められます。この力は、学校でも家庭でも育まないと、なかなか身に付くものではありません。

そこで、「時津っ子の教育」に携わる、時津町立小・中学校６校、並びに時津町教育委員会は、次のような願いを持ち、令和５年３月に、第４訂版となる「学習の手引き」を作成しました。

○　時津っ子に、自分の考えをもち、人と議論することのできる知識や技能を身に付けさせたい。
○　時津っ子に、望ましい生活や学習習慣を身に付けさせたい。
○　時津っ子に、進んで学習に取り組む意欲や態度を育てたい。
○　学校での学習と家庭での学習を、効果的に結びつけたい。
○　時津っ子が、中学校進学時に抱くかもしれない生活や学習上の不安を、少しでも取り除きたい。
○　家庭と小・中学校がつながり合って、時津っ子の健やかな成長の実現を図りたい。

この冊子の中には、保護者の皆様へ向けたご説明やお願いなどもかかげております。ぜひお子さんといっしょにご覧いただき、内容や方向性についてご理解いただきますとともに、励ましのお声掛けやアドバイスをしていただきますようお願いいたします。

この冊子が、各ご家庭と町内小・中学校を結ぶ架け橋となり、今後ますます連携を深めながら「時津っ子の教育」に取り組んでいけますよう願っております。

もくじ

…子どもよう　…保護者用

Ⅰ 「はやね・はやおき・あさごはん」～きょうも げんきな とぎつっ子～

1　せいかつリズムに　ついて	P1
2　あさの　じゅんびに　ついて	
3　かていがくしゅうの　じゅんびに　ついて	P2
4　テレビや　どうが　ゲームの　やくそくに　ついて	

1　生活リズムを整えさせていますか？	P3
2　適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？	
3　お子さんが学習する環境は、整えられていますか？	P4
4　テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？	

Ⅱ 「かていがくしゅうのしかた・けいかくのたてかた」

1　べんきょうする　まえに　きを　つけて　おこう	P5
2　べんきょうする　じかんを　きめよう	
3　どんな　べんきょうが　できるかな？	P6
4　べんきょうが　おわったら、あしたのよういを　しよう	P9

1　家庭学習の意義を考えましょう	P7
2　家庭学習の基本をふまえましょう	
3　学習への正しい取り組み方を身に付けさせましょう	P8
4　子どもが身に付けるべき内容を、把握しておきましょう	P10

Ⅲ 「がくしゅうの やくそく」

1　じゅぎょうの まえ	P11
2　じゅぎょうちゅう	
(1)　がくしゅうどうぐの つかいかた	
(2)　がくしゅうにむかう しせい・たいど	P12
(3)　がくしゅうちゅうの はなしかた	
(4)　がくしゅうちゅうの ききかた	P13
(5)　がくしゅうちゅうの かきかた	
3　やすみじかんの　すごしかた	
4　ノートのとりかた	P14

～子どもが　みるところ～

Ⅰ　「はやね・はやおき・あさごはん」
～きょうも げんきな ときつっ子～

1　せいかつリズムに　ついて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4がつ	がつ	がつ
①　よるは、９じまでに　ねた。	1ねん			
	2ねん			
②　あさは、７じには　おきていた。	1ねん			
	2ねん			
③　ねる　じこくと、おきる　じこくを、いえの　ひとと　きめて、まいにち　じかんどおりに　せいかつ した。 ○おきる　じこく　ごぜん　　じ ○ねる　じこく　　ごご　　じ	1ねん			
	2ねん			

2　あさの　じゅんびに　ついて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4がつ	がつ	がつ
①　あさごはんを　まいにち　たべた。	1ねん			
	2ねん			
②　ごはんや　パンだけでなく　おかずも　たべた。	1ねん			
	2ねん			
③　あさから、いえで　うんちを　した。	1ねん			
	2ねん			

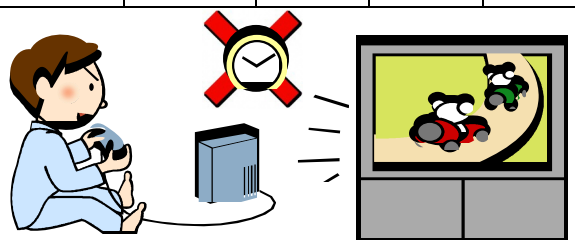
～子どもが　みるところ～

３　かていがくしゅうの　じゅんびに　ついて

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		４がつ	がつ	がつ
①　べんきょうを　するときは、テレビや　どうが、ゲームを　けした。	１ねん			
	２ねん			
②　えんぴつ、けしゴム、きょうかしょ、ノートなど　がくしゅうに　ひつような　ものを　よういした。	１ねん			
	２ねん			
③　かていがくしゅうの　まえや　あとに　つくえの　うえを　せいりした。	１ねん			
	２ねん			

４　テレビや　どうが　ゲームの　やくそくに　ついて

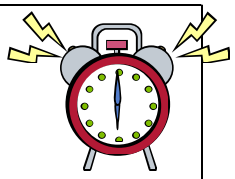
よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		４がつ	がつ	がつ
①　テレビや　どうがを　みたり、ゲームを　したり　するのは、（　　）じまでに　した。	１ねん			
	２ねん			
②　テレビや　どうがを　みたり、ゲームを　したりする　じかんは、あわせて（　　）じかんまでに　した。	１ねん			
	２ねん			
③	１ねん			
	２ねん			



～保護者の皆様へ～

Ⅰ　「早寝・早起き・朝ごはん」
～今日も 元気な 時津っ子～

１　生活リズムを整えさせていますか？



学習効果を上げるために大切なものは、睡眠時間です。就寝時刻が遅いと起床時刻も遅くなり、朝食をとることができない等、一日が時間的・精神的に慌ただしくなります。そうならないためには、帰宅後の生活リズムを確立し、適切な睡眠時間をとるようにしていくことが大切です。

また、睡眠不足は、授業への集中力を減退させ、学力向上の妨げとなるばかりでなく、体内時計をくるわせ、通常なら乗り越えられる課題もできなくさせると言われています。

常に、心と頭と体がスッキリした状態をつくれるよう、規則正しい生活リズムを維持させてください

以下は、小学生の睡眠に関する目安です。お子さんはいかがですか？

小学生の睡眠時間	小学生の就寝時刻	小学生の起床時刻
８時間～１０時間	午後８時～１０時	午前６時～７時

２　適切な朝の習慣を身に付けさせていますか？

文部科学省の調査によると「朝ごはんを食べないことがある小学生の割合」（令和４年度全国学力・学習状況調査）は、時津町の小学生 12.1％（全国15.1％）という結果が出ています。

また、同じ調査で「朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係」の結果を見ると、毎日朝食を食べる子どもの方が、平均正答率が高い傾向にあります。ここから、学力の向上には、朝食の「栄養」と、それを準備してくださる「保護者」のがんばり、そして決まった時刻に起きる「子ども」のがんばり、この三つのかかわりが大切だと考えられます。

また、成長期にある子どもの、よりよい脳の発達のためには、食事の栄養バランスも欠かせません。家庭の責任として、学びの土台をつくるにふさわしい朝食をとらせ、家庭で落ち着いて排泄させた上で、すっきり元気に登校できるようにしましょう。

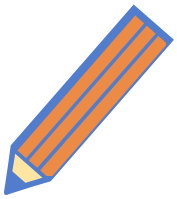
① 朝ごはんを食べ始める時刻を決めさせる。
② 主食（ご飯やパン）とおかずの栄養バランスのよい朝食を準備する。
③ 家庭で排泄する時間を確保できるよう、登校時刻から逆算して起床させる。

～保護者の皆様へ～

３　お子さんが学習する環境は、整えられていますか？

子どもが集中して学習に取り組んでいくためには、意識が遊びに向かわないような環境を整えることが大切です。特に、低学年の子どもは集中が途切れやすいので、十分な配慮が必要です。また、まだ子どもが自分の力だけで全てを整えることは難しいですので、次の点に留意してください。

① テレビやパソコン、ゲーム、スマホ等の画面を消し、学習に集中できるようにする。
② スマホや遊び道具、ゲーム等は、手の届かない所、見えない所に置く。
③ 机やテーブル等、じっくり落ち着いて学習できる場所をつくる。
④ 学習前に、必要な道具（鉛筆･消しゴム･教科書･ノート等）を準備する。
⑤ 学習内容を基に、学習時間や終了時刻を大まかに決める。
（例　△時△分までに、□□を終わらせる。）
⑥ 書いたり声に出したりするだけでなく、意味を理解しながら学習する習慣をつけさせる。
⑦ 保護者が、子どもの学習の状況に関心を示す。
・最初は、隣に座って正しい学習の仕方や内容を教える。
・慣れてきたら隣に座らず時折声をかけ、学習の進め具合や理解度を確かめ、賞賛する。
⑧ できた理由、できなかった理由、どうすればできるかについて、言葉で振り返らせる。



４　テレビの視聴やインターネットを利用した機器の使用について、ルールを決めていますか？

テレビやインターネットを介したゲーム、動画アプリ等を長時間利用している子どもは、就寝時刻が遅かったり、家族との会話が少なかったりする傾向にあります。

また、インターネットの利用を子どもに任せていると、ネット上のいじめや、ネット上のつながりをきっかけとした事件に巻き込まれるケースも増えることが報告されています。

国は、子どもに携帯電話等を持たせるかどうかの判断と管理は、保護者が行うよう定めています。インターネットを利用できる機器を保護者の責任として持たせる場合は、いじめや事件に巻き込まれないよう、右下のQRコードから読み取った資料を参考にしながら、子どもと一緒にルールを決めましょう。

また、読書は、考える力や思いやりの心、豊かな感性を育みます。

インターネットの適切な活用を促しつつ、読書（家読（うちどく））に親しむ時間も割くことができるよう、家庭での過ごし方を工夫しましょう。

～子どもが　みるところ～

Ⅱ　かていがくしゅうの　しかた
けいかくの　たてかた

１　べんきょうする　まえに、きをつけて　おこう

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		４がつ	がつ	がつ
①　「いつ」べんきょうするかを　きめた。 はじめる　じこく（　　）じ	１ねん			
	２ねん			
いつも　おなじ　じかんに　べんきょうする　しゅうかんを つけると、しゅうちゅうすることが　でき、あたまの　なかに、べんきょうした　ことが　しっかり　はいります。				
②　べんきょうする　ばしょを　きめた。	１ねん			
	２ねん			
いつも　おなじばしょで　べんきょうすると、きもちが　おちつき、あたまの　なかに　はいりやすく　なります。				

２　べんきょうする　じかんを　きめよう

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		４がつ	がつ	がつ
①　まいにち（　　）ぷんは　べんきょうした。	１ねん			
	２ねん			
１にちに　３０ぷん～１じかん　がんばれると　すごいですよ。				

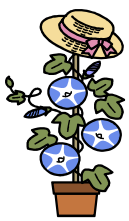
～子どもが　みるところ～

３　どんな　べんきょうが　できるかな？

⑴　さきに　しゅくだいを　おわらせよう。なにがあったかな？

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4がつ	がつ	がつ
①　しゅくだいは　まいにち　した。	1ねん			
	2ねん			
○「かんじ」、「ひらがな」、「かたかな」の　しゅくだいは　ないかな？ ・ならった　じを、ていねいに　くりかえし　かいて　みよう。 ○さんすうの　しゅくだいは　ないかな？ ・むずかしいところは、おうちの　ひとに　きいてみよう。 ・とけいを　みながら、はやく　ただしく　といてみよう。 ・いみを　かんがえながら　けいさんしよう。 ○おんどくの　しゅくだいは　ないかな？ ・「、」や「。」に　きを　つけて、すらすら　よめるように　れんしゅうしよう。 ○きょう　あったことを、にっきに　かいてみよう。 ・「いつ」「どこで」などが　わかるように　かけているかな？				

⑵　ほかにも　できることがあれば　やってみよう！

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		4がつ	がつ	がつ
①　しゅくだい　いがいも　とりくんだ。	1ねん			
	2ねん			
②　どくしょをした。 （1しゅうかんに［　　］さつ）	1ねん			
	2ねん			
○としょしつで　かりた　ほんを、よんでみよう！ きょうは、なんページ　よむか　きめてみよう。 ○いきものの　おせわをして、ようすをみてみよう。 きょうは　げんきかな？　かわったことは　ないかな？ 				

～保護者の皆様へ～

Ⅱ　家庭学習の仕方・計画の立て方

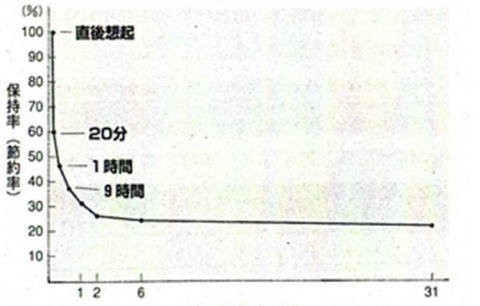
1　家庭学習の意義を考えましょう

子どもたちは、学習内容のほとんどを、学校で学んできます。それなのになぜ「家庭学習」が必要なのでしょうか。

右のグラフは「忘却曲線」と言い、覚えたことを忘れていく様子を表したものです。

このグラフから分かるように、人は、せっかく覚えても、何もしなければ、どんどん忘れてしまいます。

「長期記憶」といって、完全に記憶できた状態になるには、一度に長時間かけて詰め込むのではなく、学習直後、１日後、１週間後、１か月後と、間を空けて復習するのがよいとされています。復習の時間は短くて構いません。また、単に「作業」として学習するよりも、「意味を考えながら」学習した方が定着しやすいことも分かっています。記憶の定着は個別に差があるため、このような学び方は、家庭の方が適しています。



エビングハウスの忘却曲線
(Ebbinghaus, 1885)
【引用文献　2006　グラフィック学習心理学～行動と認知～　サイエンス社】

つまり、家庭学習は、「学んだことを定着させるために、欠かせない取組」ということです。

2　家庭学習の基本をふまえましょう

家庭学習に取り組ませる際、次の点を踏まえて支援していきましょう。

① 決めた時刻に、決めた場所で取り組む

自分で始める時刻を設定させ、いつも同じ場所で勉強させるようにすると、自発的に効率よく学習ができるようになります。

② 「ながら」をやめる

何かをしながら学習をすると、気が散り、集中が続かず、時間もかかります。効果的に学ぶためにも、「ながら学習」をしないよう心がけさせましょう。

③ 見通しを立てる

「〇〇の学習を〇時までにやり終える」等、あらかじめ計画を立ててから取り組ませるようにすると、集中力がアップします。

④ あきらめずに最後まで取り組む

ねばり強さも学力です。つまずきが見られた場合は、具体的に、どの部分がどのように分からないのかはっきりするまで取り組ませてください。

また、その部分を、先生に伝えるように促してください。

低学年の勉強時間は３０分～1 時間が目安です。取り組む内容によって、時間配分を大人が示してあげましょう。

～保護者の皆様へ～

３　学習への正しい取り組み方を身に付けさせましょう

まず、学校から出た宿題を把握しましょう。それに応じて、時間配分やほかの学習内容を決めさせます。子どもに「宿題は必ずやる」という意識をもたせましょう。また、終わらせるだけでなく、取り組み方も大切です。最初のうちは、細部にまで目を向け声をかけてあげてください(家で勉強する際のノートと教科書の置き方やノートの書き方等)。そして、低学年のうちに、学習への正しい取り組み方を身に付けさせましょう。

このようなことは、「成長すれば、できるようになる」というものではなく、時期を逃すと、かえって身に付きにくくなります。

〈宿題におけるかかわり〉

○　内容を確かめて
・低学年では、多くの場合、「国語(ひらがな・かたかな・漢字・音読)」「算数(計算)」の宿題が出されます。それらの内容を確かめましょう。

○　国語の学習
・文字の宿題は「正しく・丁寧に」書かせましょう。特に新しく学習した文字は、正しく書かせたいものです。最初に間違えて書けば、間違いが身に付いてしまいます。
・音読は、大きな声ではっきりと、すらすら読めるようにしましょう。句読点で区切って読むようにすると、文節の理解にもつながります。
・音読することに慣れてきたら、抑揚をつけた読み方に挑戦させましょう。

○　算数の学習
・計算の宿題は、最初はゆっくり正確に、慣れてきたら時間を決めて早く解くようにさせましょう。
・文章題では、問題の意味を考えさせましょう。
言葉で説明するのが難しい場合は、図をかかせてみましょう。「意味が分かる＝図がかける」です。図がかければ、式も立てられます。

〈宿題以外のかかわり〉

○　日記は「いつ」「どこで」「だれが」「何を」「どうした」を明確にして書かせましょう。慣れたら、出来事を詳細に書いたり、時間にそって書いたりすることに挑戦させましょう。

○　読書は本探しからです。子どもによって、合う本は違います。他の子に合う本が自分の子に合うとは限りません。自分に合った本を探させることからスタートしましょう。お子さんへの読み聞かせでも構いません。

○　生き物を飼う場合は、特別なことがない限り、毎日継続して世話をさせましょう。

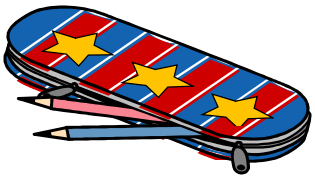
○　工作・製作や料理等に取り組むときは、自分でさせることと、手を貸すこととを、はっきり区別しましょう。怪我をしそうなことでも、させてみて初めて、その難しさや注意点が分かり、怪我をしない工夫ができるようになります。

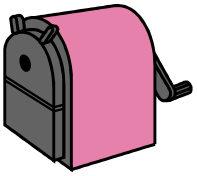
○　上に挙げたもの以外にも、自分で取り組めることは数多くあります。低学年のうちで大切なことは、様々なことに興味をもって取り組むことです。各家庭で毎日取り組む学習があったり、大人と一緒にすることがあったりしてもよいと思います。
それらを考えて、よりよい家庭学習に取り組ませていきましょう。

～子どもが　みるところ～

４　べんきょうが　おわったら　あしたの よういをしよう！

よくできた◎、できた○、あまりできなかった△		４がつ	がつ	がつ
①　れんらくちょうを　ひらいて、あしたの　じかんわりを　たしかめた。	1ねん			
	2ねん			
②　あした　つかうものを　ランドセルにいれた。	1ねん			
	2ねん			
③　ハンカチ、ティッシュ、なふだを　わすれずに　もってきた。	1ねん			
	2ねん			
④　ふでばこの　なかみを　かくにんして　えんぴつを　といだ。	1ねん			
	2ねん			





さいごに ① ② ③ チェックをしよう！

①　しゅくだいは？

②　あしたの　よういは？

③　とくべつの　よういは？

（げつようびの　よう い・ずこうの　よう い　など）

～保護者の皆様へ～

４　子どもが身に付けるべき内容を、把握しておきましょう

○　子どもが、その学年で学習して身に付ける内容を御存知ですか？それを保護者の方が把握しておけば、家庭学習において何ができるようになればよいのか、そのために何に取り組ませればよいのかが分かるので、効果的な家庭学習が行えます。また、前学年で学んだ内容を確実に身に付けたかどうかは、次学年で学ぶ内容の理解に深く関係するので、その点も踏まえておきましょう。以下に、国語・算数の主な学習内容を挙げます。

		１年	２年	３年
国語	文字	○　ひらがな・かたかなを全て読み、全て書くことができる(１年時までに)。 ○　当該学年配当漢字を全て読み、８割を書くことができる。 ○　前学年までに学習した漢字を書くことができる。		
	書く	○　だれが・何をしたという簡単な文を書くことができる。	○　「いつ・どこで・だれが・何をした」ということを、時間を追って書くことができる。	○　「いつ・どこで・だれが・何を、どうした」ということを時間を追って書くことができる。 ○　文の組み立て方や句読点に気を付けて書くことができる。
	言語	○　季節や物の名前、動作等のキーワードをもとに、いろいろな言葉を集めることができる。	○　主語と述語の区別をつけることができる。	○　主語・述語・修飾語の区別をつけることができる。 ○　国語辞典の使い方が分かり、意味を調べることができる。
	音読	○　教科書の物語・詩などを、声に出して、すらすら音読することができる。 ○　意味が分かるように、句読点や文節で区切って音読することができる。		
算数	数・計算	○　２桁の数までについて、具体的な物(おはじき等)と数字を一致させることができる。 ○　１０までの繰り上がり・繰り下がりのないたし算・ひき算がスムーズにできる。 ○　繰り上がり・繰り下がりのたし算・引き算ができる。	○　九九をスムーズに唱えることができる。 ○　２桁のたし算・ひき算がスムーズにできる。	○　億までの数・小数・分数の意味が分かり、簡単な小数・分数の足し算・引き算ができる。 ○　３桁のたし算・ひき算や、２桁×２桁の計算がスムーズにできる。 ○　わり算の意味が分かり、計算することができる。
	量・図形	○　入れ物の大きさの違いから、水の入っている量の違いを知ることができる。	○　長さの単位を使って、正しく線を引いたり測ったりすることができる。 ○　水のかさの単位について理解することができる。 ○　時計・時刻について理解することができる。	○　コンパスの使い方が分かり、簡単な図形を描くことができる。 ○　長さ・重さの単位について理解することができる。 ○　時間の概念について理解することができる。

～子どもが　みるところ～

Ⅲ　がくしゅうの　やくそく

保護者の皆様へ

学校では、次のような学習の約束をしています。御家庭でも子どもと一緒に確認してください。

1　じゅぎょうの　まえ

○　がくしゅうどうぐを　かくにんしよう！
〈ふでばこの　なかに　いれるもの〉

□あかいろと　あおいろの　えんぴつ
□とがった えんぴつ　［　　］ほん
□じょうぎ　　□（　　）
□けしゴム　　□（　　）
□ネームペン　　□（　　）

・べんきょうに　かんけいない　ものは、いれません。
・したじきは　ひつような　ひとは　まいにち　もってきましょう。

2　じゅぎょう　ちゅう

(1) がくしゅうどうぐの　つかいかた

① **えんぴつ**を　ただしく　もって　かきます。
② **ノート**には、ひづけを　かきます。
③ **もじ**は、ますの　なかに　ていねいに　かきます。
④ **ノート**は、ページを　とばさないで　つかいます。
⑤ **ノート**は、やぶりません。
⑥ **けしゴム**は、ノートを　おさえて、やさしく　つかいます。
⑦ **じょうぎ**を　つかって、まっすぐ　せんを　ひきます。
⑧ **プリント**は、かどを　そろえて、きれいに　おります。
⑨ **はさみ**を　つかって、ていねいに　かみをきります。
⑩ **のり**は、うすく　のばして　つかいます。

⑵ がくしゅうに　むかう　しせい・たいど

① しっかり　はなしを　ききます。
② はっぴょうする　ときは、まっすぐ　てを　あげます。
③ おおきな　こえで、へんじや　はっぴょうを　します。
④ きょうかしょは、りょうてで　もって　よみます。
⑤ もじや　すうじは、ていねいに　かきます。
⑥ せすじを　のばして、いすに　すわります。
⑦ あしを　ぶらぶら　させたり、シューズを　ぬいだり しません。
⑧ つくえや　いすを、きちんと　ならべます。

⑶ がくしゅうちゅうの　はなしかた

はなす	・ わたしは～だと　おもいます。 そのわけは～だからです。
しつもん	・ ○○さんに　しつもんが　あります。
おなじとき ちがうとき	・ わたしは、○○さんと　おなじです。 ・ わたしは、○○さんと　ちがいます。
つけくわえ	・ ほかにも　あります。 ・ つけくわえが　あります。

⑷ がくしゅうちゅうの　ききかた

① しせいを　よくして、はなしを　する　ひとを　みます。
② うなずきながら　ききます。

⑸ がくしゅうちゅうの　かきかた

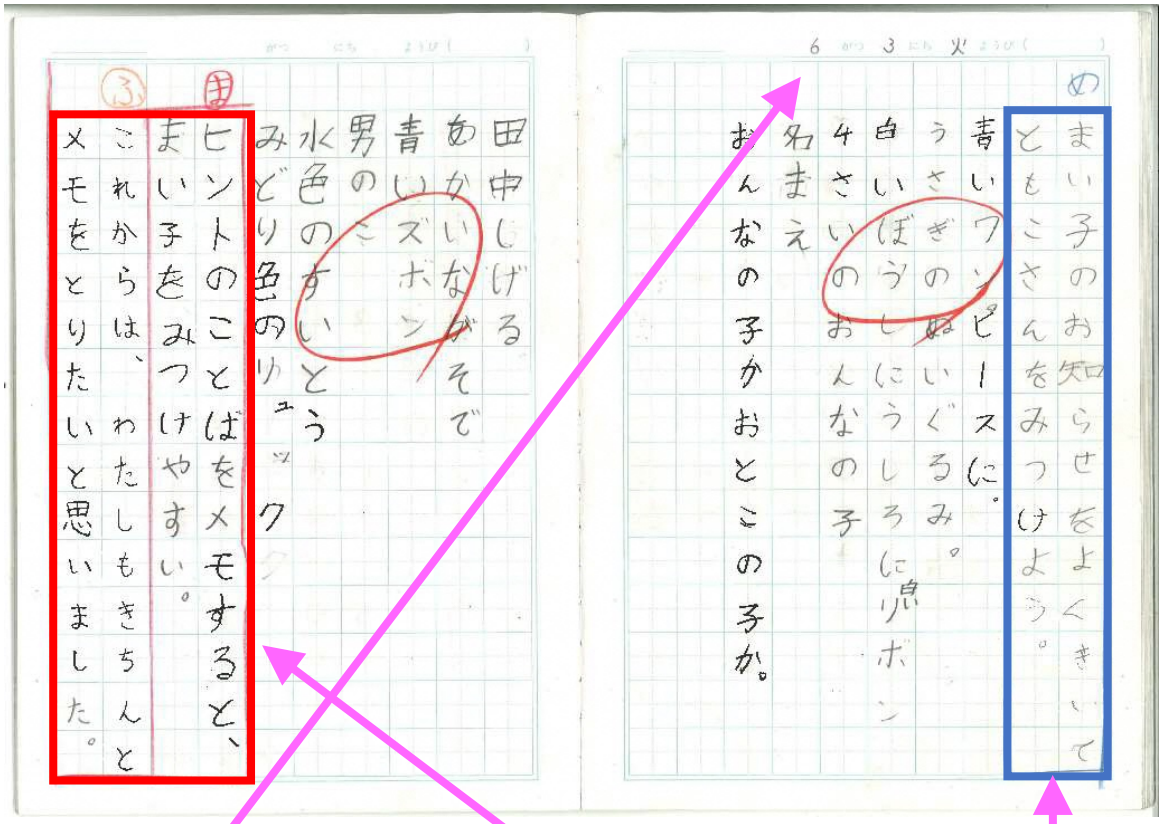
① こくばんを　みて、ていねいに　かきます。
② もじや　ずを、ただしく　かきます。
③ がくしゅうの　まとめや　かんそうを、しっかり　かきます。

３　やすみじかんの　すごしかた

① つぎの　じかんの　がくしゅうどうぐを、つくえの　うえに　だして、じゅんびを　して　おきます。
② はやめに　トイレを　すませ、１ぷん　まえには　せきにつきます。

４　ノートのとりかた

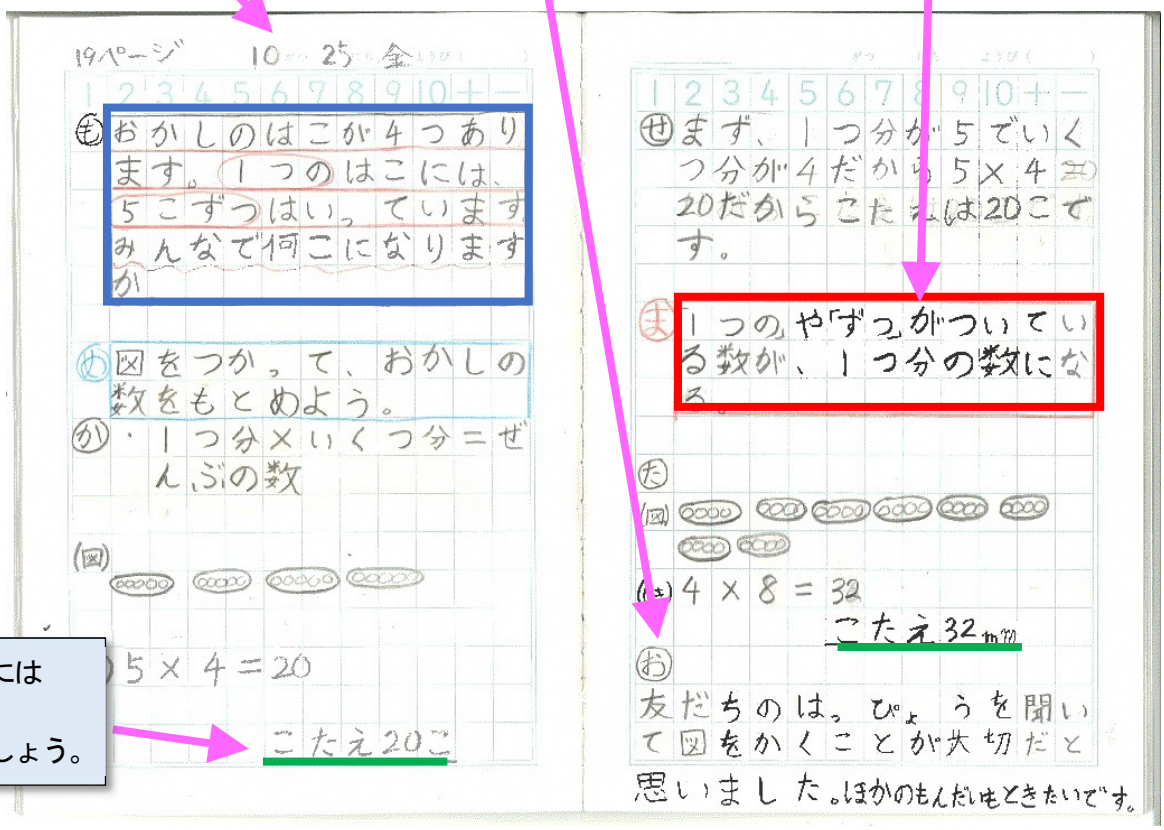
⑴ ひづけと　きょうかしょの　ページ、もんだい ばんごうなどを　かきます。
⑵ めあて・まとめは、いろわけを　して、 じょうぎを　つかって　せんで　かこみます。
⑶ さいごに、がくしゅうの　かんそうや　ポイントを　かきます。



ひづけ、ページなどは
かならず かきましょう。

さいごに かんそうを
かきましょう。

いろを つけると
みやすいですね。



こたえには
せんを
ひきましょう。

「進んで学ぶ　時津っ子」

平成２３年１２月　初版発行
平成２６年　３月　第１回改訂
平成２９年　３月　第２回改訂
令和　２年　３月　第３回改訂
令和　５年　３月　第４回改訂

発行者　時津町教育委員会
「進んで学ぶ時津っ子」作成協議会
時津小学校　時津北小学校
時津東小学校　鳴鼓小学校
時津中学校　鳴北中学校

とぎつちょうりつ＿＿＿＿＿しょうがっこう
１ねん＿＿くみ＿＿ばん
２ねん＿＿くみ＿＿ばん

なまえ